

事務事業評価シート

(H.30)No.	7013-2	(H.29)No.	7013-2
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	看護専門学校(病院事業会計)		
担当部局名	担当室名	室長名	
市立病院事務局	看護専門学校(教務庶務室)	山城 千鶴	

会計区分	事業コード
病院事業会計	(中事業名)※予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施策	3	地域医療
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
感性豊かな人間性と現代医療に対応できる知識・技術・態度を身につけた地域社会に貢献できる看護師の育成
事業内容
感性豊かな人間性を養い、看護対象である人間を広く理解し、健康上の問題解決に必要な看護に対する知識・技術・態度を身につけることで、保健医療の進展、変化に対応できる看護の実践者の育成をめざす。また、人々の生活基盤である地域を理解し、個人個人の生活特性を生かした看護展開ができる能力を開発するために、在宅ケアの看護技術の修得および継続看護に重点をおいた教育を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	平成29年度末 学生数61名 (1年生21名、2年生21名、3年生19名) 平成29年度入学者数20名 平成29年度卒業生数15名 国家試験合格者数15名 市内医療機関への就職者数8名(うち市立病院8人)	地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加
		地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加
		地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加
		地域医療に貢献できる優秀な入学者の確保(定員20名) 市内医療機関への就職者の増加

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		90,392千円		93,873千円	93,873千円	93,873千円	93,873千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		23,615		26,728	26,848	26,848
	一般財源	0	66,777	0	67,145	67,025	67,025
人工数	職員		8.75人		10.00人	10.00人	10.00人
	臨時職員等		0.96人		0.96人	0.96人	0.96人
②概算人件費	0千円	80,298千円	0千円	80,116千円	80,116千円	80,116千円	80,116千円
①+②総事業費	0千円	170,690千円	0千円	173,989千円	173,989千円	173,989千円	173,989千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成29年度の卒業生(15名)が看護師国家試験に合格し、市内医療機関へ8名が就職した。少子化に加え、学生の大学志向の傾向は依然強く、三重県内にも看護系大学が4校あり、入学者の確保は厳しさを増している。その対策として、全国平均を上回る国家試験合格率の維持など、育成力の高さにより他校との差別化を図っている。「地域医療体制に満足している市民の割合」の目標に貢献している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

今後も地域医療に貢献できる優秀な看護師育成を図るため、その原石となる学生への入学募集PRを積極的に行っていく。また、一人でも多くの学生が看護師になれるよう、よりわかりやすい授業への取組、学生へのサポート体制の充実を図っていく。全国的な看護師不足の中、地域医療の看護師の充実を図るため、今後も効果的な方法や工夫を検討していき、地域医療に貢献できる看護師の育成に努めていく。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
